



Title	1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1(36 外務省外交史料館レファレンス番号 : H222218)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.5 公開日 : 平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号 : 2010-6437 CD・DVD番号 : H22-013
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

C

36

秘

15日午後

総理の打会 43.12.7 米島友

12月7日午前10時より2時迄 総理との
打会を行つた。出席者 総理 大塚

得利吉房長友 本村新吉友 次友 米
島田局長 北米澤長

1. 総理より 旧東の安全の土地の件はの基
地が何故必要かか 一考要を要する

通達の結果 基地が弱くなることは困るで
はないか。との趣旨の発言あり

2. 「旧東を安全に格納の安全」は「旧東及び
旧東を安全に格納の安全」と表現する等「沖

港の基地は 朝鮮台島等のためは旧東の領
土を使はせる」と云ふことなどなく 旧東の安全

の必要は必要」と云ふ言の徹底が必要なりと

の指指あり

3. 泡いど 「愛知大正院の件」別添2
「沖港の基地の地位は泡いど」を朗読

第一項に付 総理より「その通り」と強
いことあり。第二項以下は泡いどは特定

用語は泡いどはコメントはなかつたが全
作として反好なく。泡いど「資料」を

朗読。「泡いどをから、いど」資料を
泡いどから云ふ。

4. 米島友の泡いどは。大塚より米島友と
懇談に着手すること。泡いど米島友の

一時米島友を充分強すること。泡いどは
ソコ大塚は泡いどを人を選定する(米島

よいと思ふ) (泡いど) 可成り泡いどを
泡いどを泡いど

韓升希大に訪米 布告に拘りなく日
米関係全般を是れやると、その

5月外務省に於いては 米債約に 米債と
結合して 実情を 固めるとは 考へるは

先づ
返還時期の月達を つけ、米債約の形は 前
次やつて 行けば よからう、その 考へあり

米債の返に 2122は 米債の 地位に 決
定する 旨は 米債の 決定に 決める

2122は 考へあり と 見られた 旨 報告より
把握し、 整理し 考へて 置く。

5. 日本 整理より 米債 2122の PRの
必要 (一人だけ 考へて 置くと 考へるは

考へるは 2122から) 米債長 考へ、 返還
自給と 考へるは 2122 米債問題 2122之

を 米債の 返還 考へるは 利用し 2122 状況
は 実には 考へるは、 その 返還の 考へあり。